

# 英語版くすりのしおり®の実態調査と作成数増加の考察(～2020東京オリパラに向けて～)

○野村香織\*1、栗原理\*2、工藤香代子\*2、岩田孝\*2、岸野淳二\*2、橋口佳恵\*2、平林文字\*2、黒川寛之\*2、片山厚\*2、恩田威俊\*2

\*1 東京慈恵会医科大学

\*2(一社)くすりの適正使用協議会 くすりのしおりコンコダス委員会

## 【目的】

第50回大会で2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて英語版のくすりのしおり®(以下しおり)の作成数増加の取り組みを報告した。今回、薬剤師を対象に英語版しおりに関する使用実態を調査したので、更なる作成数増加の考察を加えて報告する。

## 【方法】

(株)マクロミルケアネットによるインターネットリサーチ  
(調査期間:2018年4月2日～4月5日)

## 【調査対象】

全国の薬剤師772名(病院勤務178名、薬局勤務491名、その他103名)

## 【キーワード】

くすりのしおり®、英語版医薬品情報

## 【結果】

- 回答を得た薬剤師772名のうち、しおりを認知していたのは682名(88%)であった【図1】。
- 682名の中で515名〔病院勤務125名(24%)、薬局勤務388名(75%)、その他2名〕に対して更にしおりに関する追加調査を実施した。英語版しおりを、「使用したことがある」のは126名(25%)、「知っているが使用したことはない」145名(28%)、「知らない」244名(47%)であり、英語版しおりを認識しているのは271名(53%)であった。日本語版しおりの認識率71～99.8%に比べ、英語版しおりの認識率は低かった【図2】。
- 英語版しおりを「使用したことがある」126名での使用目的は(複数回答可)、「日本人患者が渡航の際に渡す」79名(63%)、「在住外国人患者に使用」59名(47%)、「来日外国人患者に使用」32名(25%)が上位であった。勤務先別で見ると、病院薬剤師は外国人に、薬局薬剤師は日本人に使用している比率が高かった【図3】。
- 英語版しおりを認識している薬剤師271名に、どこで知ったかを尋ねると(複数回答可)、「日本語版しおりのページの英語版ボタン」が53名(20%)で最も多かった【図4】。

図1 くすりのしおり®認知の割合 (n=772)

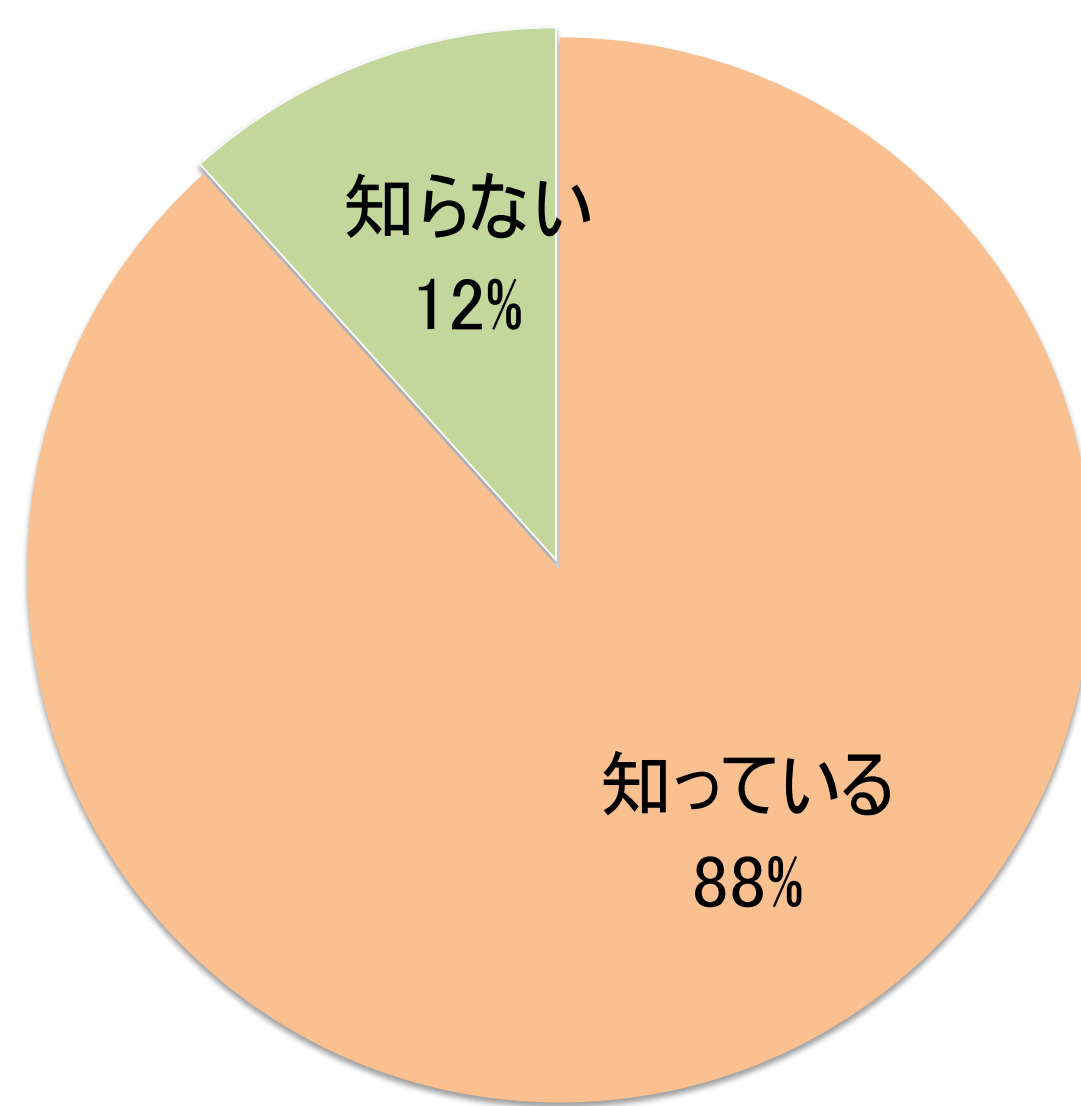


図4 英語版しおりの入手先 (n=271、複数回答可)

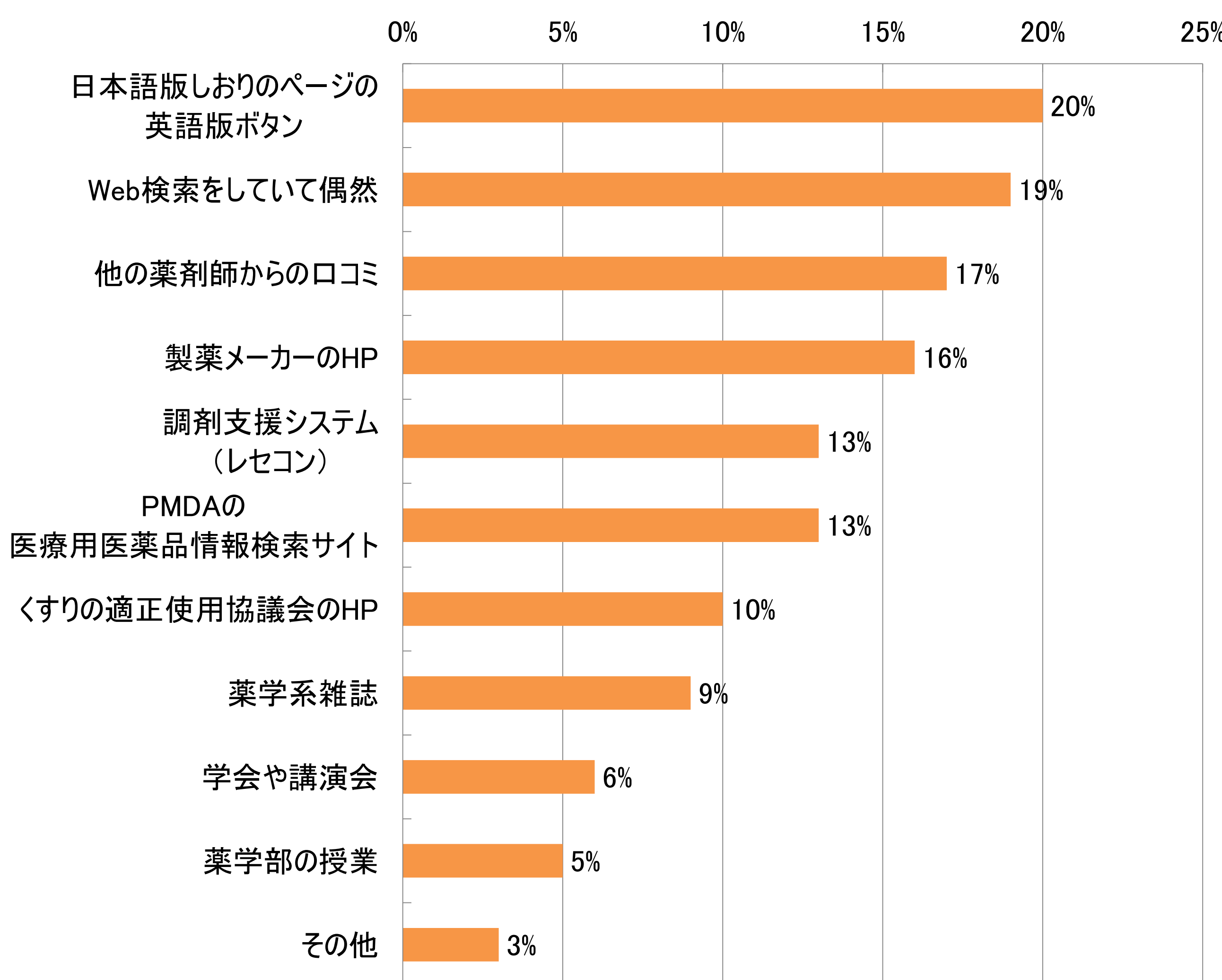


図2 くすりのしおり®認識率と使用経験 (n=515)

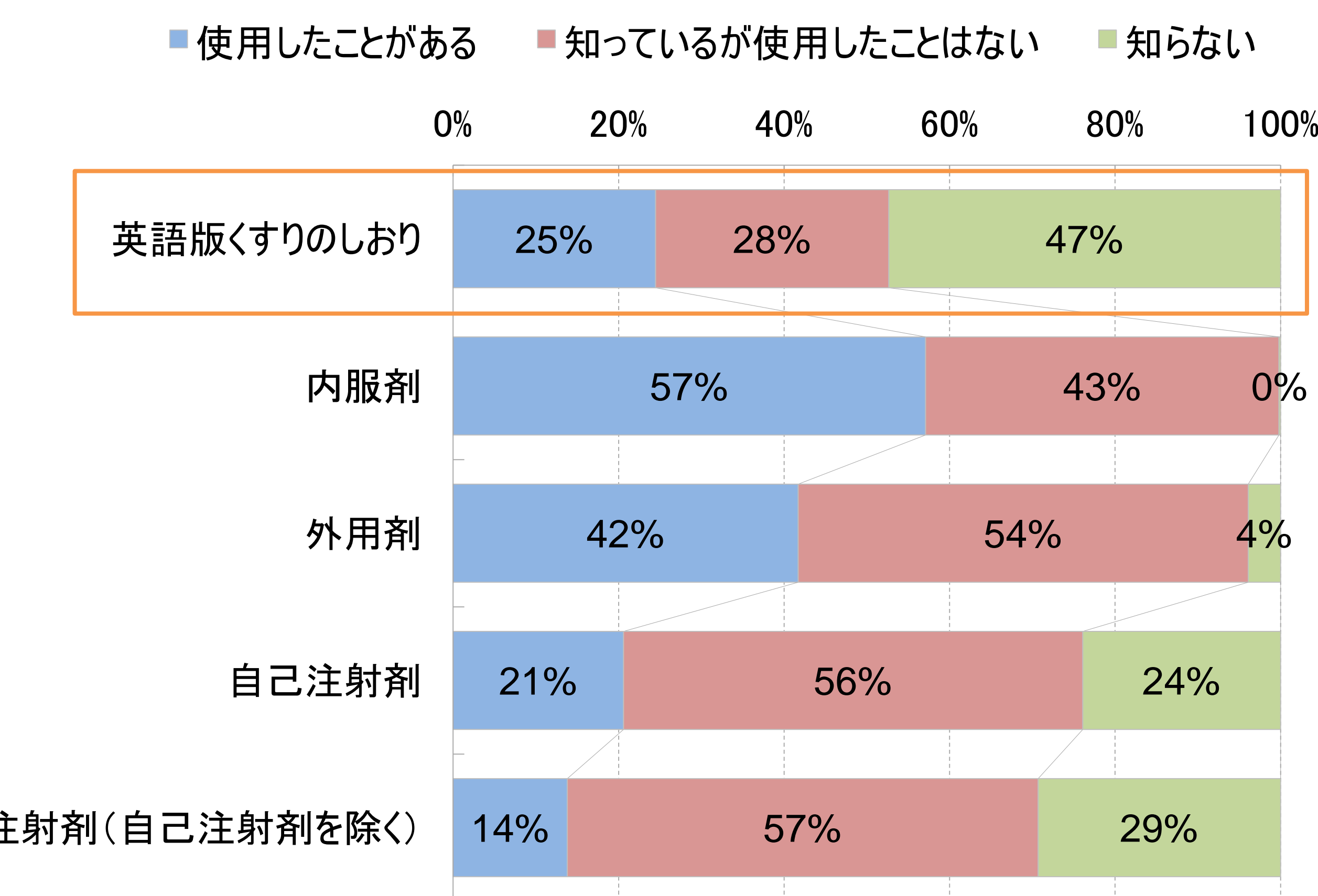
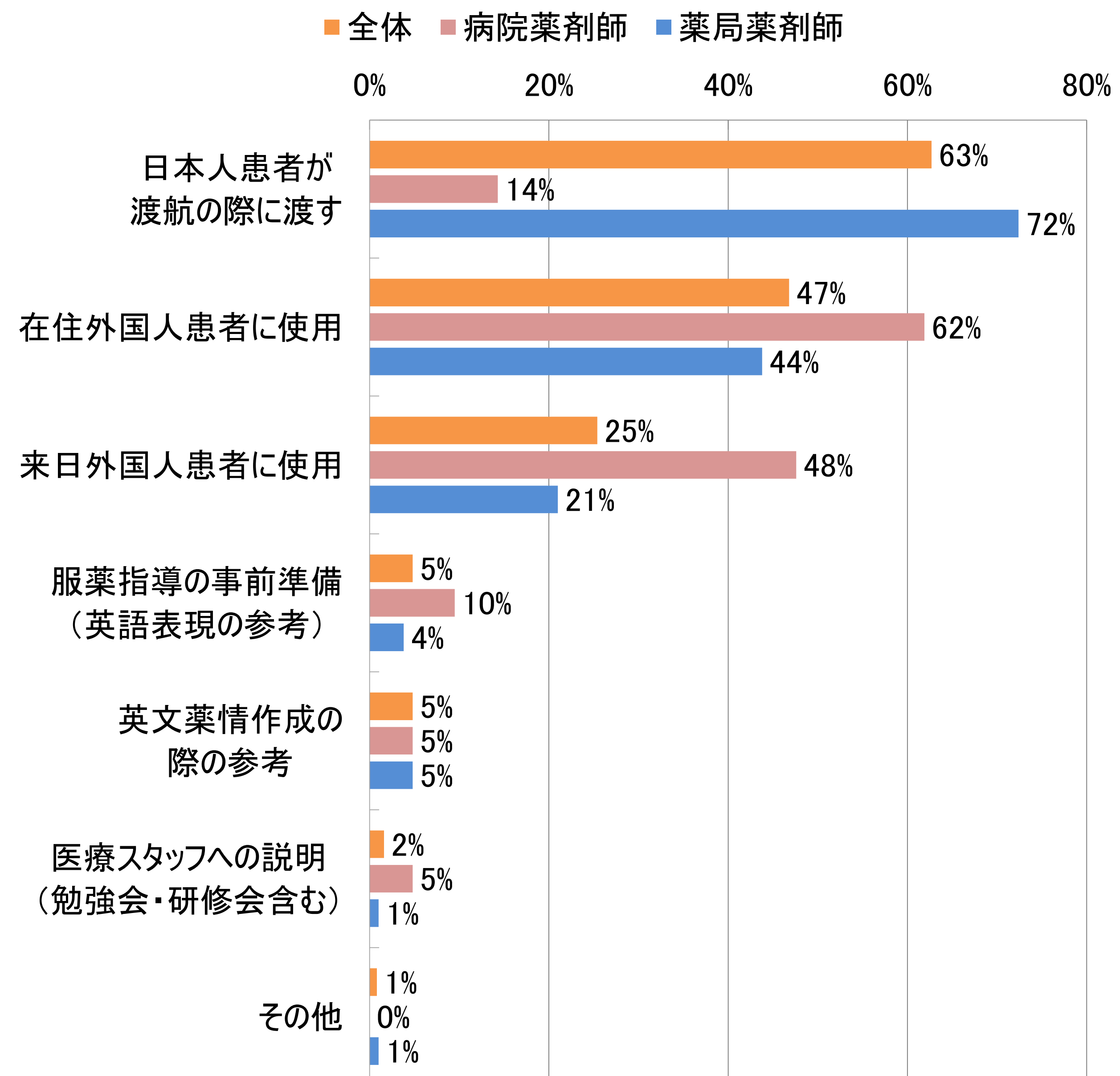
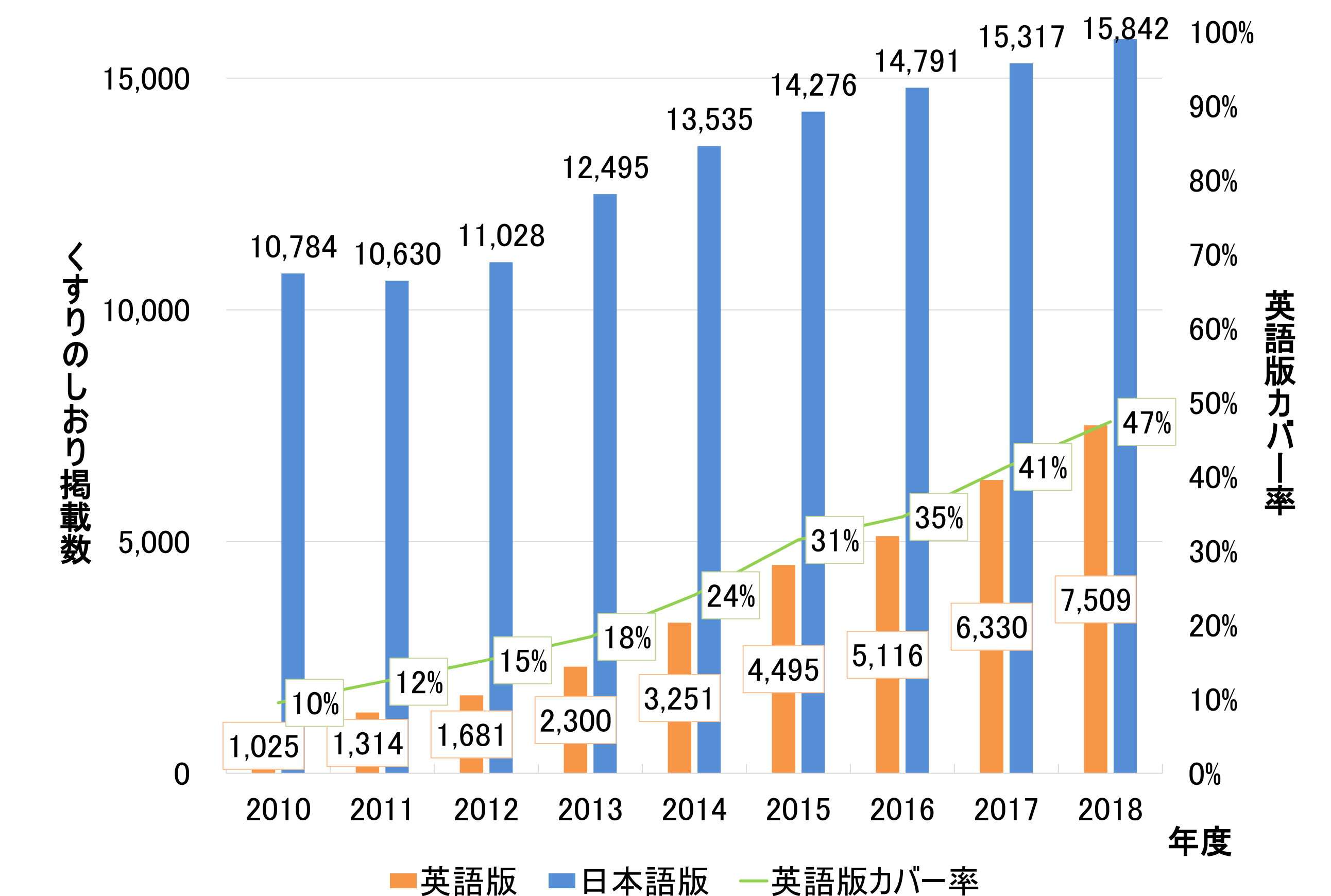


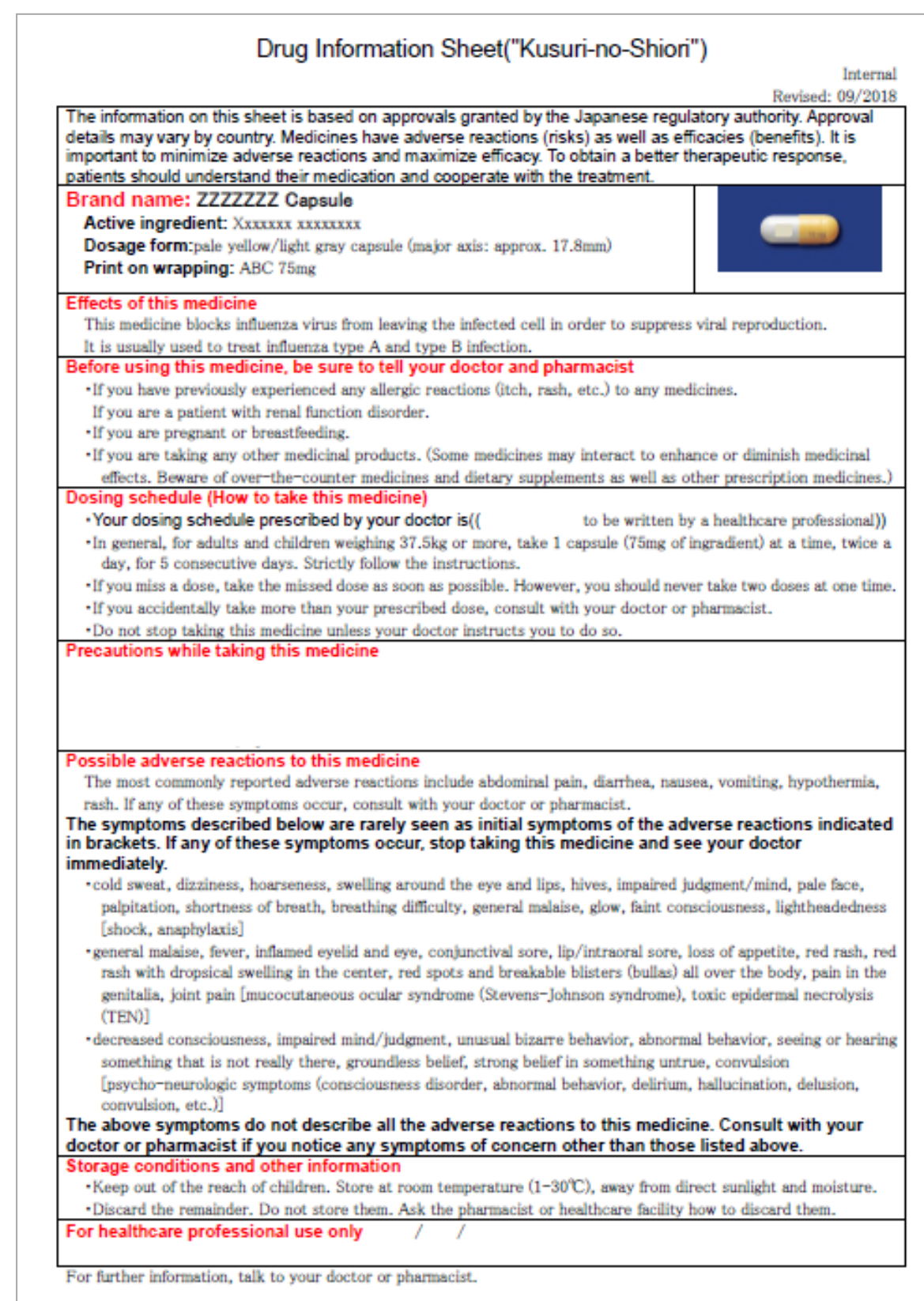
図3 英語版しおりの使用目的 (n=126、複数回答可)



くすりのしおり®掲載数の推移



英語版しおり <http://www.rad-ar.or.jp/siori/english/>



## 【考察】

第50回大会で英語版しおりの日本語版に対するカバー率がまだ低いことを報告したが、今回英語版しおりそのものの認識率が低いという課題も浮き彫りになった。ただし、日本語版の認識率は高く、またくすりの適正使用協議会ホームページ上の日本語版ページから英語版しおりの存在を知り得るので、日本語版しおりのページを工夫することで英語版しおりの認識率を上げられると考えられた。2020年に向けて英語版しおりの拡充が急務であり、現在協議会では翻訳のための参考資料を充実させているところである。また英語版しおり未掲載の品目に対しては、個別に作成サイドである製薬企業と連携し、作成数増加へ働きかけている。

COI開示 筆頭発表者名: 野村香織 演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません